

簡易水道等施設整備費補助金事業評価概要									
基本情報									
事業実施主体	厚真町				事業種別	水道			
補助金区分(大)	簡易水道等施設整備費								
補助金区分(中)	簡易水道再編推進事業								
事業内容	統合簡易水道								
工 期	始期	H18	終期	H28	補助年度	始期	H18	終期	H28
前回評価	評価種別	事前評価		評価方法	量反+回避	B / C	1.02	時期	H17.3
今回評価	評価種別	再評価		評価方法	量反+回避	B / C	2.44	時期	H20.9
事業概要 (目的・必要性、内容、効果等)	<p>厚真地区及び上厚真地区簡易水道を統合し、併せて未給水区域の解消を図る。不足する水量と石油混入が懸念される軽舞川の代替として水源を厚幌ダムに求め、必要な施設(取水、導水、浄水、配水)の建設を行う。</p> <p>本事業の実施により、水質・水量的に安定した水源の確保ならびに未普及地域解消を図ることが可能となり、地域住民に対して安定した水道水の供給体制を構築することができる。</p>								
評価の内容									
評価項目	評 価 結 果								
社会経済情勢等 水需要の動向等 水源の水質の変化等 当該事業に係る要望等 関連事業との整合 技術開発の動向	<p>水源である厚幌ダムの供用開始が当初の平成23年度から平成29年度に変更される見込みであることを鑑み、最新の人口、需要水量を基に再度需要予測を行った結果、計画給水人口を4,850人から4,100人に、計画給水量を当初計画の3,140m³/日から3,000m³/日へ見直した。</p>								
事業の進捗状況 関連法手続き等の見通し 工事工程 事業実施上の課題	<p>各種法的手続きは滞りなく実施している。</p> <p>工事工程については、現在配水管布設工事を進めており、平成19年度末における進捗率は事業費ベースで2.8%、延長ベースで7.4%となっている。</p> <p>厚幌ダムの供用開始までの間、未給水区域の解消を行えないことから、現在使用されている井戸の水質的な面、維持管理の面から、水道水供給に比して問題が多いと考えている。また、石油の流入の懸念がある軽舞川を使用する必要があり、石油流入事故の再発の懸念が残る。</p>								
コスト縮減	コスト縮減につながる技術を積極的に検討・採用する考えである。								
代替案等の可能性	<p>事業統合を実施せずに、簡易水道毎に整備を行った場合と事業統合するものの、水源を厚幌ダムに求めず、海水淡水化施設を設けるものとして検討を行った結果、いずれも現計画よりも事業費が多くなるとの結果を再評価委員会に報告し、了承を得た。</p>								
事業の費用対効果分析 (コスト及び便益の内容を簡潔に記載すること。)	(コスト、便益の内容)								
	既給水区域については、水源開発が行わないとして減・断水被害額を計上した。			未給水地域については、自家用井戸の維持管理費(水質検査、ポンプ動力費、井戸更新費)を計上した。					
	便益(B)	10,379,427 千円		コスト(C)	4,256,129 千円				
その他 環境への影響 安全性									
参考 (評価結果、地元での注目度等)	平成20年7月および9月の2回にわたり開催された事業評価委員会で検討の結果、事業計画を見直した上で継続するとの評価結果を得た。								